

六 防衛勤務

タルトニ長嶺茂山守備隊ヨリ、資材ノ供給等  
ニ依リ時間ニ比シ効果大ニ見ルヘキモノアリ  
然シ共資材ノ不備ト警備勤務等ニ依リ之カ徹  
底不十分ノモノアリ

其一管内一般ノ状況  
(一) 滿領内ノ状況

安圖縣地方ニ於テ匪團ハ朝鮮併合當時ニ  
其端ヲ發シタル民族間見ヲ根柢トシ次テ民族  
自決主義ニ變移シ更ニ共產党ニ投シタル所  
謂 共匪ノ外滿洲國成立ト共ニ又滿又日ヲ  
標榜シ且強盜行爲ニ依リ生起シツヤルニ  
匪ノ二種ニ大別シ得此中共匪最モ多ク是等  
匪賊ハ當地守備隊駐在以來多クハ潰滅若シ  
クハ奥地深ク逃走シ數ニ於テハ若シク減少

0871

セリハ雖實ニ於テハ思想的根底極メテ深ク  
 團結鞏固其抵抗執拗ニシテ今尚奧地密林地  
 帯内等ニ蟠居シ巧ニ警戒網ヲ潜リテ時々出  
 没シ主義ヲ宣傳物資ヲ掠奪人質ヲ殺致等ヲ  
 散行シアリ而シテ是等殘存匪賊就中共匪ハ  
 從來ノ武力工俵ノ一面ヲ不利ヲ悟リ武力ヲ  
 以テ脅威シ且潛行的ヲ併用シテ其目的ヲ達  
 セントスル傾向アリテ偷安ヲ許サコルモノ  
 アリ

(二)

鮮内國境ノ状況

豆滿江ノ一葦帯水ヲ以テスル鮮滿國境ハ  
 到ル處徒涉容易ニシテ交通自由ナリ爲ニ  
 密輸出入問題相當アリ朝鮮内物價ト滿領  
 内ノ物價ノ差特ニ食塩等ハ之ヲ終熄セシ

ムルコト現状ニ於テハ防止困難ナル状態  
 ナルモノト如シ  
 當地方ハ近年北鮮製紙會社ノ材木伐採之  
 之ニ伴フ各種施設等ニテ鮮人移住甚ク  
 シク金融機關モ比較的良好ニシテ遠  
 地ニ似合ハサル相當ノ生活ヲ一般ニ爲シ  
 ツ、アリ  
 2 賊情ニ就テハ  
 九月下旬頃咸南ヲ襲撃セル雀賢匪ノ北上  
 説アリ守備隊ハ警察官並各種自衛團ヲ指  
 導シ之カ潜入防止ニ努メタルモ遂ニ匪團  
 北上セズ對岸ニ脱出セルモノト如シ  
 3 住民ノ動向ニ就テハ  
 當地方ニ於ケル住民ハ思想概ネ正順ニシ  
 テ各其業ニ勵ミ時ニ住民ノ軍部ニ對スル

0873

信賴ハ大ニシテ益々其度ヲ高メツコトアリテ  
軍隊長ク駐在セハ兵營ヲモ寄贈セントス  
ル意氣込ナリ今回ノ歸還ヲ甚夕遺憾トシ  
陳情セントスル氣配アリタルコト以テ一時  
之ヲ中止セシメタリ

其二營内防衛ノ狀況

當地方ニ於ケル警備ハ警察官自衛團自警團  
滿警及滿領内自衛團等ヲ以テス其概況左ノ

如シ  
(一) 警察官ノ狀況

近來當方面ノ警察官ハ住民ニ對スル威信ヲ  
失墜シ守備隊ハ警察官ノ威信ノ恢復或ハ  
之カ保持ニ努メタルモ先入主トナリタル  
住民ハ容易ニ之ヲ信賴セサルモノト如ク  
最近ニ於ケル其教左ノ如シ

不農事祠駐在所  
 又紅巖の岩出所  
 テ住民ノ信賴セサル原因ハ種々アリ  
 之ヲ判スルニ  
 (1) 信賞必罰ヲナシ  
 (2) 軍紀嚴正ナラス  
 (3) 諸規定ノ實施不確實  
 (4) 官ノ監視監督不十分  
 (5) 住民ノ酷使  
 (6) 住民ヨリノ響應  
 自衛團ノ爲テハ  
 本年五月下旬頃ヨリ設置セラレタルモノ  
 自衛團ノ状況  
 自衛團ト警察側指導ト北鮮制紙會社雇傭ト  
 自衛團ト部落民ト以テ編成スル自衛團ト  
 五

(三)

(二)

ノニ種ニ分類シテアリタルモ去ル九月十八日ヨリ會社側自衛團ハ各種事情ニ依リ之ヲ中止セリ現在ハ各部落民ヲ自衛團ヲ編成シ警戒ニ任シタルモ之等自衛團ハ何等兵器ヲ有セスニテ未ダ幼稚ノ域ヲ脱セス殊ニ最近此等自衛團ノ警戒實施補不十分ナルモノノ如シ

自衛團ノ狀況

本年五月下旬頃ヨリ北朝鮮製紙會社ニ於テ雇傭セルモノハ概シテ鈴木少尉以下十一名ノ最近除隊セル者ハ概シテ郷軍人ヲ以テ編成シ道警察部ヨリ借用シ小銃ヲ有シ比較的優秀ニシテ紅巖ヲ定住ト爲シアルモ來ルヘキ師團秋季演習ニ其大部ハ召集サレ十月下旬迄ハ之ニ期待シ得サル現況ナリ

(四)

滿警之滿領内自衛團ノ狀況  
營卒備隊一最モ接近セハモハ前廣墾農事  
洞西北約十米ノモニテ各種混合銃十  
餘ヲ有シ極メテ眞孰ナルモ訓練不十分ニ  
シテ未ダ幼稚ノ域ヲ脱セス

其三

(一)

管内一般ニ道路ノ狀況ハ鮮内ノ本道幹線  
道路ヲ除ク外不良ニシテ交通運輸機關ノ  
發達ヲ阻害シ殊ニ對岸ハ甚タシク爲ニ自  
動車ノ運行ハ勿論ニ代フル牛馬車ト雖

(二)

管内一般ノ通信連絡施設ハ未ダ不十分ニ  
シテ警備上ニ或ハ一般通信上ニ不便ヲ感  
スル點尠カラス

現在警察警備有線電話之北鮮製紙會社有

六

0877

線電誌アルモ警備電誌ヲ除ク外普及十分  
ナラス

其四

守備隊駐屯間ニ於ケル警戒ノ状況

宿營地直接ノ警戒ハ晝夜ヲ所ニ歩哨ヲ配

置シ内ニ所ハ晝間展望哨トシ夜間ハ之ヲ

部落内ニ移動シ定位置ヲ定メ宿營地周圍

ノ警戒ニ任センメタリ

又行軍等實施ノ場合ハ三長ヨリ小川中尉

所要ノ部隊ヲ率イ來農ノ營地ニ宿泊スル

當地附近ノ直接警備ニ任シ其他ノ行軍ノ

場合ニ在リテハ當地守備隊ノ約十名内外

ヲ残置シ直接警備ニ任センムルト共ニ管内

警察並自衛團等ヲ統制區署ニ警戒ニ任セン

メタリ

諸情報ハ之等警察官及自衛團並地方住民